

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		家電量販店（店長）	・ 8月に開催される北京オリンピックの影響で、テレビを中心としたAV機器が活発に動き始める。
		乗用車販売店（営業担当）	・ ガソリン高騰により、軽自動車への移行が見えてきている。
		旅行代理店（従業員）	・ 夏の旅行相談の来客があり、シルバー層を中心に旅行のニーズは高い。
		通信会社（管理担当）	・ 新端末、新サービスの販売開始及び業界の再編等により良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・ 夏場に向けて、商店街でのイベント等の予定もかなりあり、賑わいも出てきたように思う。上昇するような雰囲気ではないが、一定の底を打ったような雰囲気がある。
		スーパー（店長）	・ このまま値上げが続くと、景気が回復する傾向にはならない。
		乗用車販売店（従業員）	・ 県下の全ての産業が下向きになっているので、自動車だけが上昇することはあり得ない。
		一般レストラン（経営者）	・ 食品、光熱費、生活物資の相次ぐ値上げのため、客の単価が総じて安くなっている。
		観光型旅館（経営者）	・ 地域でイベントや行事を開催して集客努力をしているので、景気は今の状態であり落ち込むことはない。
		タクシー運転手	・ 今後も節約儉約が続く。
		ゴルフ場（従業員）	・ 予約状況から見て、前年よりは少し良い状況で、全体的には変わらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・ 原油・石油製品の値上がりのため、全体に落ち込んでいく。
		商店街（代表者）	・ 諸物価の高騰、地方経済の疲弊、国政の混迷、好材料が見当たらない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・ 物価が上昇して経費も膨らんでいるが、売値を上げることはできない。
		百貨店（営業担当）	・ ガソリン価格が更に値上げとなると、地方の車社会では、かなり家計の負担となって出歩かなくなる。
		百貨店（営業担当）	・ 衣料品などの購入単価が低下しており、絵画等の高額商品が減少、ファッション商品の購入も単品買いが多い。
		スーパー（店長）	・ 懸念材料は、今後のガソリン価格の上昇である。地方では車での外出（通勤、通院、買物）が常であり、一番の関心事として良く聞く話題である。今後は客単価や商品群ごとの買上率の変化、客数の動向に注意が必要である。
		スーパー（企画担当）	・ 生活必需品の価格高騰はしばらく続く。余暇・趣味需要への影響も出てきており、レジャー産業（旅行・フィットネス・レンタル等）の売上高も前年割れが続いている。
		スーパー（統括担当）	・ 給料が上昇せずに、消費支出が伸びないままで物価が上昇しているため、消費は悪くなって景気が悪化していく。
		衣料品専門店（経営者）	・ 衣料、ファッションの消費は今後ともより節約型になり、来客数や客単価で厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（管理担当）	・ 商談の少ない状態が、継続している。
		一般レストラン（経営者）	・ 6月以降の食品の値上げと大幅なガソリンの値上げが、更に買い控えを加速させる。
		タクシー運転手	・ 夏が来て、暑くなって、お遍路さんの仕事もほとんどなくなり、また市内でタクシーが増えているので、なかなか乗ってもらえない状況が続いている。夜、飲みに出る客もずいぶん減っている様子で、ますますタクシー業界は良くない。今、氷河期ではないか。この前も40台くらいあるところが倒産した。将来はすごく不安である。
		設計事務所（所長）	・ 建設関連の物価が非常に上昇しており、賃貸マンション等の収支が合わなくなり、事業を中止するような状況が起きている。
		悪くなる	商店街（代表者）
	一般小売店〔生花〕（経営者）		・ ガソリン価格上昇のため、納品や配達に経費がかさんでいる。余分な目的以外の物は買わない消費者が増えている。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）		・ 取引先の料飲店及び店頭販売の全てにおいて、景気好転につながるような兆候が見られない。
	百貨店（売場担当）		・ 物価は上がる一方で、財布のひもはますます固くなる。

		スーパー（店長）	・今後も更に食品の値上げが続き、客は10円の値上げ・値下げにも敏感になっている。物価が高くなりすぎて、景気は後退する。
		スーパー（店長）	・5月は県内建設大手の企業の民事再生法の適用申請があった。それ以外にも、小麦などの食料の高騰、また、ガソリンの高騰が相次いでおり、非常に厳しい状態である。
		衣料品専門店（経営者）	・物価上昇による買い控えが出ている。また客の年齢層が高いため、高齢者の医療制度による影響も出ている。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高騰が続き、他の商品も値上がりすれば民間企業のサラリーマンの生活が厳しくなる。
		住関連専門店（経営者）	・物価上昇による買い控えが続く。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・得意先から7～9月の受注量が上昇している。特にプレハブ関係の受注増の傾向が強くなっている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・部材メーカーからの値上げ要請が加速しており、競合先の攻勢も強く、当面目が離せない状態である。
		広告代理店（経営者）	・新聞広告等マスメディアを中心に広告費が削減され、さらに紙代等原材料費、印刷費等仕入れ原価も値上げになる見込みで利益確保が厳しくなる。
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・景況感の悪化傾向は変わらず、原材料の高騰等の懸念材料が増加している。大手ユーザーと弱小ユーザーの明暗が鮮明になってくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・原材料高騰のため採算が悪化する。
		建設業（経営者）	・建設資材の値上がりで、今よりも環境は悪くなる。
		輸送業（役員）	・原油・原材料の値上げによる客の収益悪化により、ますますの物流合理化、運賃見直し要請が強くなる。
		不動産業（経営者）	・建築資材の値上がり、さらに客の激減という状況で日増しに厳しくなっている。
		公認会計士	・企業の経営者は、物価の上昇を売上に転嫁出来ない状況のなかで、設備投資、新規の採用を控えており、景気の悪化を非常に懸念している。
悪くなる	輸送業（支店長）	・原油高が続けば、地方の経済活動は更に停滞、低下する。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数の推移が順調であり、3～5月に伸びている点から見るとやや良くなる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	・前年の3～5月と今年の状況が似ているため、今後3か月も変わらない。
		職業安定所（職員）	・求人や就職者数の増加要因は、パート勤務求人の増加で一時的なものと思われる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・企業の発注にかげりがあり、増員を見合わせる傾向が強まっている。
悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ガソリン価格や食料品の値上がり、ほとんどの分野に波及し、消費者マインドは冷え生活防衛期間に突入する。	
	職業安定所（職員）	・4月分の新規求人は、前年度及び前月比で減少しており、この傾向はしばらく続く。	